

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(110) 議事録

日 時	平成 29 年 4 月 18 日 (火) 18:30~21:45
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、宇佐美久夫、(事務局) コンサルタント 2 名、閑上公民館館長
オブザーバー	仙台高専 3 名 (坂口先生、学生 2 名) 職員 本庁 1 名、震災復興部区画整理課 4 名 生活支援課 2 名 傍聴 2 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報受発信について 2. 通常総会に向けて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 110 回世話役会議事録案 資料-1 2016 年度活動報告、2017 年度活動計画案 資料-2 第六次まちづくり提案書案 資料-3 なとり春祭り出展報告、ミズベリングワーキング資料 資料-4 学生ボランティア (コンソーシアム兵庫) 資料

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第 110 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

##### <市の情報提供>

- ・トレーラーハウスの活用可能性や六次提案内容の市側からの確認について報告があった。
- ・閑上地区の残存物について、リスト化のお願いをまち協から文章で出すこととした。
- ・保育所開設についての説明があった。
- ・災害公営集合住宅の組織設立について、参加者が少なく、対策を講じてでもなんとか設立に向けて市も努力するが、まち協も何らかの形で応援していきたいとした。

##### <世話役からの情報提供>

- ・春祭りについては、天候に恵まれて多くの来訪者がいたので、上映した **VR** を有効活用するため、再度調整し、ホームページでも流せるようにしたいという話になった。
- ・ミズベリング閑上について、イベントをするということはわかるが趣旨や開催概要など、気になる点も多く、今後も会議に世話役が参加して、動向を見守ることとした。

#### 1. 情報受発信について

- ・特になし

## 2. 通常総会に向けて

### <活動報告、活動計画案について>

- ・活動報告、活動計画案とも事務局案を基本に、足りない部分などを追記して、整理することとした。
- ・今年度は、まち協の今後も考えていく必要がある。コミュニティの再生と地域の受け皿としての組織運営についても議論していく必要があると確認した。

### <第六次提案書について>

- ・概ね良いとしたが、集会所のみの図面は削除し、集会所や中央公民館などの人が集まる施設を公園の位置図に記載し、人が交流する場所としてまとめることとした。

## 3. その他

- ・神戸のほうから代表に講演の要請があったことや公園緑地ワーキングに学校関係者の参加をお願いすることとした。
- ・閑上中学校への通学支援の話や第3期の災害公営住宅への入居希望者の動向など、閑上地区のまちづくりにかかわる点について話があった。

### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は4月25日（火）とする。

次回予定:世話役会(112)4/25(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室

### **以下、世話役会の主な意見について記載する。**

初参加者の自己紹介：大学の職員を退職し、ボランティアで生涯学習センターとのかかわりで活動してきた。また、仮設住宅のコミュニティのつながりを継続するため、学習する市民の支援やなとり元気コミュニティ応援団の活動など、トヨタ財団からの支援、助成などを基本に、美田園北町内会や愛島東部仮設住宅団地などで、お茶のみ会などを開催してきた。今後は、まち協と共に、コミュニティ再生の仕掛け作りに参加していきたい。

## 0. 事前確認

### 資料-0 第110回世話役会議事録案

#### 議事録の確認

- ・第110回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

#### 名取市からの情報提供

##### <トレーラーハウスの活用について>

→前回宿題のトレーラーハウスの活用について、所有者の復興支援財団に確認してところ、子供利用、ボランティア利用の制限があるが、ある時期が来たら日和山より移動し、現段階としては、児童センターとしての利用継続を検討中、集会所機能への活用については、可能かどうか今後検討していく。児童センターとして使わないのなら相談に乗れる可能性はあるとのこと。(市)

- ・所有者は？造成等が遅れる場合の使い方や場所は？

→復興支援財団が所有者、移転先は、学校用地の一部とか、可能性はある。(市)

### <六次提案についての市の見解>

→六次提案の内容について、公園の設置基準の表記において、数字の記載は、必要ないなら削除してもらったほうが市としては受け取りやすい。(市)

・記載は筋が通るように説明しているだけであり、提案内容としては最終的には市がどのように判断するかなので、いまのところ記載がだめという言い方ではなく、資料を作成する上で、どういう配慮がいいのかについて意見をもらえればよい。提案内容として、結果的にすべてを受け止めるかどうかは、名取市の判断なので。

→数字が記載されていると、今後に影響することもあるので、記載しないほうがよいのではないかという意見をもっているということだ。(市)

### <残存物の取り扱いについて>

・被災前に街の中であって、現在保管されているポストとか、石碑とかはどうなるのか？

→基本的には廃棄だと考えている。必要であれば、住民の声があれば、どうするかを検討することになる。(市)

・パブコメみたいなものを取るということは、ないのか？

→今のところはない。(市)

・学校の時計はどうなる？

・メモリアル公園に設置しなおすとか考え方はないのか？

→市に保管しているものはある。再設置か廃棄かについて、どうかするかは検討していくことになる。(市)

・質問の趣旨は、市に現在何が保管されているかを教えて欲しいということだ。

・捨ててはいないはずなので、必要としないと廃棄される恐れがある。

→各課がそれぞれリストを持っていると思う。(市)

・住民も知りたいという話だ。

→ちなみに復興部にあるのは、商店街のレジャーマップ、中学校にあった石碑など、市の広報版、南通用門、西通用門、石碑、100年記念碑、中学校の像、校歌の石碑、希望の街の石碑などが、復興区画整理課で所有している。(市)

・メモリアル公園内に施設を作る作らないとか、防災センターに作る作らないとか、水面下で動いているようだが、メモリアル公園にそれらのものを設置するということもあるのでは？いるものもいらぬものも、パブコメして判断するほうがいいのでは？住民が知らないまま、処理されてしまうと問題になる可能性もある。

→メモリアル公園の計画議論は進んでいないと聞いている。(市)

・メモリアル公園は震災遺稿を置くべきとの話もあった。図面が決まっていなくてあれば、あればよかったという後悔をしないように、トータル的に判断して欲しいと思う。

・こういうのがある、どうしたらいいか意見を聞いて、必要か不必要化判断していけばいいのでは？

・石碑やポストや、何をどう残していけばいいのか、場所にもよるが、再設置して伝えていくことも考えて欲しい。誰も気がつかないで、処分されてしまうことがいいのか考えるべき。

・残存物の各課の保有状況について、一覧表はあるということなのであれば、現在の流れとしては、市民への公開もなく、必要、不必要を判断して、廃棄できる状況なら、市民に情報周知

をして、どのような判断ができるかどうか検討すべきだ。

→その必要性も含めて、検討する。(市)

・協議会として議論しているのだから、必要なもので、対応して欲しい。

→各課の情報としてあるらしいが、どういうものを残すか検討してもらえればいいのか？(市)

・何が残っているのかわからないので、検討できない。

・リストが欲しい。

・どれくらいでできる？

→まち協から依頼の文章をもらえればやりやすい。(市)

・学校に残ったものとか、被災を後世につたえることのできるものを残すべきだろう。

・リストをだしてもらって、住民の意見もきかないといけない。

→リストは急ぐのか？(市)

→事務局で作成し、市へ提出、庁内に回してもらうことでどうだろうか？(市)

・早いほうが良いが、段取りとしてお願い分だけなら、作成して、だすべき。

・昔の閉上を思い出させるものとか、いいのでは？

・リストとして見たとき、いいなと思うものもあったので、リストを見て検討すべきでは？(阿部館長)

#### <工事実施状況について>

→4月から宅地の引渡しが多くなる。(市)

・引渡しについては、できるだけ早めに教えてくれるほうがいい。早まることはいいことだが、あまりにも突然では対応できない。情報を早めに提供するとかできないものか？

→いっそう細かく情報を提供する。(市)

#### <保育所開設の遅れについて>

・保育所の件は？

→造成の関係で時期が学校開設の時期とずれることとなった。市としても早期開設に向けて、部分的造成で建設に向けて検討している。(市)

・造成と予算の執行時期がずれたので、着工できないことになった。対応策として、今聞いたことと学校のエリアに児童館は開設予定、保育所は敷地を検討していくと聞いている。

・できるだけ早く保育所設置に取り組むと聞いている。道筋がないこともないと聞いた。

・対応早めをお願いしたい。

・去年のスケジュールがずれたことが情報交換会ではじめてわかった。未就学児への影響が大きくなるので、遅れた原因を説明してもらったほうが良かったと思う。

#### <災害公営集合住宅の組織設立について>

→自治会設立準備会を開催したが、2名しか参加がないため、意見交換にした。今後の進め方についても事務局預かりとした。他地区の進め方の事例を収集したり、住民同士で話し合いを進めたらよいか、ノウハウをさがしているところ。住民にまた周知する。(市)

・設立はするのか？

→するのかどうかも、わからないが、どうするかを全員に投げる、個別に対応する。(市)

・行政主導で作るからという方法もあるのでは？

・必要性や全部人任せはいけないとか、説明していくべきだろう。

→入居説明会のときに、話をする必要があると思っている。(市)

- ・設立準備会の人があるべきだったはず。担わず勇気が必要では？
- ・行政で作戦を練っている段階だとも思う。

→なんとかできる努力は必要で、取り組んでいる。(市)

・世話役が苦勞していることがわかっているので、それを生かして、閉上に反映することに手伝っているの、作戦を練る必要がある。

・結果的に問題がおきてからでないと理解できないことを回避して、そのために協議会や市が苦勞しているはず。

・入居すれば終わりになるが、共益費の収受など、管理費についての認識も低い。数名参加という状況では、町会設立に向けても、問題である。

・西団地の復興住宅へ引越した後は、なにも提供されないという愚痴が電話でよく来る。なくなってありがたみがわかるとの話だ。お茶会の要請なども多い。そういうタイミングで町内会の話をするほうがいいのではないかと思う。さみしい、とじこもりなどを回避するためには、どうしても必要との話をすべき。仙台のアスト長町でも、集合住宅では入居者相互が声をかけにくいということも聞いている。

・回りと協調しながらしたらいいとかいえないか？

・お茶のみ会を開催する際に、チラシなども作成し、それを一緒にやってくれるメンバーを探しながら進めるのがいいのでは？

・仮設住宅の入居者は、ボランティアのイベントが多い。公営住宅の生活ではボランティア離れをしないとイケないのではないのか？できるようにしむけてほしい。

・ボランティアが全て手を出すものではないと知っている。住民がメインですべきこともある。

・やはり、1から10まで大学にお願いすることはだめで、住民主体でおこなうべきということはあるはず。

・助成を別に行って、ただで行うのはだめということ、費用負担をする方向に変化している。

→支援団体の連絡会でも、支援慣れしている中では、徐々に減らしていく方向でと知っている。

(市)

・人が来ないと、どうしようもない。

・大変になるということを理解してもらわないとイケない。

→手続きの2ヶ月間に何らかの仕掛けをしていくつもりだ。(市)

・行政ができないなら、まち協で、専門家の参加もやるべきだろう。鍵の引き渡しまでに設立しないと入居後、機能しなくなる。

・説明会とかぎ引き渡しの2回しかタイミングない。説明会で話をしないと、ばらばらになる。その間に展開が必要。

→180戸は量が多い。入居説明会も棟ごとにあつめるのか、どうするのか。など、1つの町会をいきなり作るというのは難しいので、単位もレベルを下げたらどうか？たとえば、共益費収受のみを検討するとか、説明会のときに判断したらどうか？(事務局)

・集会所のある棟は共益費が高くなる可能性がある。

・説明会のときまでに、どのような対策を検討していくべきなのでは？

→中間団体への委託も検討している。(市)

・まち協がいえばいい。

→バックがないので、まち協が言うことでもない。(市)

・協議には参加できない。入居者ではないから。

- ・他の専門家の意見を聞くのも予算的な問題もある。
- ・残存世帯を中心とした人間だと、抵抗ある。距離感があるが、やれることをやっているのが今の状態。そういうことを背景でもいうかどうかだ
- ・困るということを知らないのでは？
- ・戸建公営に戸別訪問した更に、集会所へ誘ったが、見えない壁があるということと言われる。温度差が非常にある。公民館に着て欲しいとっている。なかなかむずかしい。
- ・西団地は班長レベルの規模で、行政区としては、班長との交流などをきっかけに、班としてまとまりを持ってもらうことは重要。現段階では町内会にはなれないと思う。
- ・コミュニティ再生を基本としているので、フレンドリーになるようにするべきだ。ただ、ソフトな基金は町内会の申請が基本となっているので、どうしてもイベントする単位が町内会というのが必要になるということをお伝えしないといけない。
- ・団地単位で立ち上げてもらうということも、必要だろう。
- ・あつめる場所も必要。
- ・在宅の場所を活用してもらうなども提案している。
- ・軒先利用で5月にでもお茶のみ会を開催する方向で動いてはいる。そのうち自分の家でやろうということになるといいのではないかと思う。
- ・コミュニティの場として使えないかどうかトレーラーハウス、管理の問題もあるかもしれないが。
- ・借りれる期間の確認が必要だろう。

### <春祭り>

- ・参加者に若い人が多かったと思う。
  - ・顔ぶれも変わった。
  - ・小中一貫校については、若い世代には評判だった。
  - ・VRについてだが、場所のコメントについて、地図をいれて、通る場所を、方位もいれて改良すべきだろう。
  - ・まち協のホームページにながせるか？
  - ・あげてよいのか？
- 市で確認はするが大丈夫だろう。(市)

### <ミズベリング閉上>

- ・バスの運行、費用面などの配慮から会費について、どうするかを検討している。
- ・東北学院大学の学生と協力しながら、進めている。
- ・秋口にバーベQをやろうとしている。誰をターゲットするか、なんのためか、参加人数などもイメージできていないので、ふらふらしている。広報活動も100名参加なら考えなくても、はっきりしていないイメージ、商業施設のかわまちエリアの決起大会みたいなものになりそうだ。
- ・次回の会議までに概ね内容が決まるのか？
- ・コアメンバーがリードすべきだが、ターゲットも、参加者も共通認識できていない。
- ・次回はいつ？
- ・まとまれば開催の予定。
- ・この程度の人数なら決起大会的な話だろう。
- ・参加人数に定員があるなら、声かけもできない。

- ・7月7日からバーベQ大会につながる流れがわからない。
- ・基本的な考え方をしっかりすべき。
- ・募集の範囲をしっかりとすべき。つなげる方法、秋は住民呼ぶのか？
- ・イベントとして7月7日にするというので、あぶれた人をあきりに招待するという方法とか。
- ・申し込みしても参加できないと問題になるので、配慮が必要。
- ・進めることはいいが、企画している人で行うのでいいのでは？
- ・告知しないでもいいのでは？
- ・ミズベリングの開催地は、被災地とは違う場所もあり、その性格を理解して欲しい。
- ・工事の進捗状況では7月7日では人数は限定しないとイケない。
- ・公募して、あぶれた人は、その後イベントにも来ない可能性がある。案内の仕方に工夫が必要だろう。
- ・歩いてくる人は入り口で誘導するとかの考え方はある。
- ・たいした企画ではないと思うが・・・
- ・次回について、参加した人は状況を説明して欲しい。

## 1. 情報受発信について

- ・特になし

## 2. 通常総会にむけて

### <昨年度活動報告>

- ・視察研修会の記述を追加してほしい。
- 週1回という表現を修正し、名取市が設置という表現も修正する。(事務局)
- ・ハッチ、グレー掛けの意味は？
- 載せるべきかどうかを判断して欲しいものだ。(事務局)
- ・世話役会でも話しているので、ハッチやグレー掛け、斜め文字は修正する。
  - ・冒頭の文章に視察の件も入れたほうがよい。参加者が一般人もいるので、事業者もいるので、ちゃんと報告すべき。
- 昨年度の活動方針のうち、提案箱、HP強化、公民館付近での会議開催はできなかったもので、今年度も配慮する。(事務局)

### <今年度の活動計画>

- ・活動方針の冒頭の文章は、現状と課題の認識ということだろう。
- そうだ。(事務局)
- ・地域自治の設立支援について、冒頭話をしたので、活動計画に入れるべきでは？
  - ・入居が進む地区の状況で、地域コミュニティ再生の話は重要だということではないだろうか？
  - ・復興マラソンは？
  - ・復興にかかわる各種団体との連携強化としたらどうか？他の団体との共同開催とか、支援とかも読めるにすべき。
  - ・エイドステーションの提案は主催者に伝えている。
  - ・まち協の存在意義を強める必要がある。
  - ・単独での活動ではない時期になっている。

- ・まち協の活動もより広い範囲に進めていく必要がある。
  - ・今考えられる連携する団体、連携活動を入れていくべきだろう。
  - ・個人でやっているところどこに手を上げるのかわからない、受け皿となるとわかりやすいし、やりやすい。いままでは支援課を受け皿としていたが、生活支援、高齢者、防災などの専門分野の活動支援のサポートについて、受け皿となるサポート団体となってもらえればよい。
  - ・まち協を継続するかどうかわからないが、組織を継続していくことは重要だが、いまだ、その実力が無いのではないかと思う。
  - ・活動計画に目指すべき姿を記載することはいいのでは？
  - ・まちびらきまでに、組織の合体、組成について、受け皿づくりを担えればよいと思う。
  - ・行政も住民に直接いえない、住民も直接いえないという実情の中で、その中間団体として位置づけを整理していけばいい。
  - ・まち協の体制として、専門家が抜けた場合、どのように運用していくのか、アイデアだしとか、ひとつずつ検討して、方向性として話しながら、進めていくべき。来るべき日時に備えたい。
  - ・まちびらきはいつ？
  - ・三回ある。**30年5月、31年10月、32年3月**が達成宣言となる。
  - ・それまでには受け皿的組織を作るべきで、早いことに越したことはない。
  - ・イベントは行政任せなのか？
  - ・朝市や商工会もやるだろう、まち協も担って、盛り上げるということもある。
  - ・今日の意見を整理して、まとめて欲しい。
- 了解（事務局）
- ・収支予算については、助成金が大丈夫か不安なぐらいで、問題ない。

## <第六次まちづくり提案書について>

- ・4頁の提案2という表現はわかりづらい。
  - ・地図上に公民館も入れてもらったほうが良い。
  - ・集会所の設置予定は、東地区にはないのか？
- 今のところない。(市)
- ・防災センターとか？震災メモリアルとか、集まる場所があるのか？今の時点で明確なら入れるべき。
- 明確でない。(市)
- ・消防署もいれたら？
  - ・派出所も？
  - ・郵便局、銀行とかも。
  - ・この地図の趣旨が行政施設の位置を示すなら必要だと思うが。
  - ・人が集まれる場所を示しているということだろう。
- 公園が最小単位、集会所が町内会単位化と置いていた。(事務局)
- ・その対象範囲を示すとかは？
  - ・現段階ではむずかしいのでは？
  - ・閑上全体でどっかの段階で検討中も含めて示していきたい。
  - ・コミュニティ作りの参考資料だから、提案書ではないのでは？
  - ・別添ならいいかもしれない。
  - ・人の集まる場所として、示されているので、4頁に記載しておけばいいのでは？そうすればいい



らなくなる。

- ・削除しよう。
- ・できれば提案内容を赤くすべき。

### 3. その他

#### <研修会参加要請>

- ・神戸から代表に講演要請があった。
- ・代表が参加することとした。

#### <公園緑地ワーキング>

- ・5月13日に開催予定
  - ・通学路でもあるので、学校関係者の参加要請をお願いするということで今対応中である。
  - ・子育て世代の母親の参加要請もあり、そういう場所があるのかどうか。
- 公園緑地ワーキングが終了したあと、子育て世代の話の場を継続したいと事務局で話をしている。(事務局)
- ・部会は結果を残すべきものになるが、そういうことでなければ、話し合いの場の確保が重要なので、継続したい。
  - ・人任せが主体の閑上の場合、やりたいひとが参加できることを考えるべき。
  - ・今年度のニュースレターで参加を募るとか。
  - ・参加員をふやす必要があるので、参加を登録する方向も考えるべき。
  - ・参加回数の少ない会議はよくない。
  - ・できるだけ多くの人を参加してもらおうような運営が必要。

#### <小中一貫校について>

- ・中学校の入学者への通学への配慮を検討して欲しいとの話を教育委員会に話をしている。
- ・回答後に、まち協がどのように対応していくかどうか、課題を整理して、実現するために話し合いの場を作りながら進めていこう。

#### <三期の災害公営住宅の戸数について>

- ・入居意向についてどのような把握をしているのか？
- 30年5月、7月までには、仮設はでていってもらことになる。ここのところ精査はしている。現況調査はしている。確認している。家族として個別にヒヤリングもしている。具体的にどうしたらいいか、検討している最中である。意向が変わる人もいる。(市)
- ・空き家の問題なのか？
  - ・入居数の精査が必要なのでは、生活再建をどのように考えているのか？行政もつかむべきということなのか、確定数が必要なのか？
  - ・空き家の入居についても検討すべきだと思っている。
  - ・水面下では考えているようだが。
  - ・空いた場合の検討を同時に検討すべきだと思う。
  - ・入居に対する意思は確認していると聞いている。
- 公営班は緑道のことを知らないといっていることも問題。閑上にすむ人、通う人を対象とすべきではないか？かかわる人の組みなおしも必要だと思う。(事務局)

・支援課と公営班の数字が違うということか？

→入居する時期とアンケート時期が違うことになるので、意向が変わるということを前提としていないので、設計についても準備すべき、空くことを想定しつつ、前倒しして検討していくべきであり、調整すべきであろう。(事務局)

・個別の家庭の実情などを知って公営住宅の設計に反映させていけるかどうかではないか？

→課内でもその話はしている。公営住宅の供給戸数を調整しつつある。(市)

・まち協での対応は難しいのでは？行政と情報の共有をしながら、理解していくしかない。

・キャンセルを公言されるとどうしようもない。

・あの場所では閑上にもどるという意見を言えないということも聞く。

・時間と共に、変化はある。気の合う人も移転すれば、そこへ行きたくなくなるということも実態としてある。支援課が丁寧に説明していると思う。うわさなどについて、愚痴なども不安なども良く聞く。直前までつかめないと思う。

・合格点を考えるべきだろう。

・情報共有やまちづくりの発信については、理解できたので、ホームページのアクセス数が減っているのも困るが。若い人には **facebook** で話の場の形成も作るべきではないかと思う。

#### <その他>

・仙台高専主催の **5月 3,4日** のイベントにまち協の資料もあると良い。

・**4月 20日** 菜の花祭りを開催予定、**10時** から **12時**、バス運行予定、蜂蜜、アイスクリームの販売なども予定している。

#### <次回世話役会>

・次回世話役会は4月25日(火)とする。

次回予定:世話役会(112)4/25(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室

以上